事業所名　児童発達支援事業所めばえ（児童発達支援）

支援プログラム

作成日　2026年　3　月　31　日

法人（事業所）理念	【子どもたちの未来に向けて】 子どもたちが未来に向けて芽を伸ばすように、日常生活で基本となる動作の取得など「できること」を少しずつ増やしていくことで、自信を持ち可能性を広げていけるように支援いたします。 子どもたちの発達の基盤となるご家族が、ゆったりとした気持ちで子どもを見守ることができるように「家族」と「子」の両方の気持ちに寄り添い、成長の喜びを一緒に感じていただけるように支援いたします。			
支援方針	子どもが安心感と信頼感を感じながら、自分を表現できる場所づくりをします。 一人ひとりの強みに着目し、こどもの育ちや可能性を拡げていきます。			
営業時間	9　時　0分から　18時　0分まで	送迎実施の有無	あり（○）　なし	
	支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	１日を通しての支援により生活リズムが整い、健康で安定した生活を提供していきます。 食事、排泄、身の回りのことなど基本的生活習慣が獲得できる様に支援していきます。		
	運動・感覚	体を使う活動（リズム、体操、サーキット等）や指先を使う製作活動（はさみ、のり、粘土、シール等）を通して、全身運動や機能の習得につなげ、 視覚や触覚などの感覚も活用できる様に支援していきます。		
	認知・行動	「こだわり」や「情報習得の難しさ」などの特性を、環境や状況の把握理解ができ、行動につなげる事が出来るように絵カードやタイムスケジュールを等を用いて、 繰り返し支援していきます。		
	言語 コミュニケーション	身振りや言葉でコミュニケーションを自らとろうとする力を身につけることができるよう、真似ることから始めていきます。 受け取り側の状況や気持ちに応じながらコミュニケーションが展開できるよう、大人が仲介しながら、やり取りを深めていきます。		
	人間関係 社会性	大人を介しての遊びからお友達に興味を持って、役割分担のできるごっこあそびやルールのあるあそびに繋げていき、社会性の発達を促していきます。		
家族支援		子どもの育ちや暮らしを保護者と一緒に考え、そして支えていきます。 それぞれの環境や家庭の状況をふまえながら寄り添い 信頼関係を築いていきます。	移行支援	関係機関との情報交換。（連携会議・見学等） 発達段階や成長を見すえた各々の場所への利用方法や回数変更などの相談援助をします。
地域支援・地域連携		保健師、障害児相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、家庭児童相談室、児童相談所と連携していきます。必要に応じて連携会議を開催していきます。	職員の質の向上	子どもの性別や国籍に配慮していきます。 自治体や児童発達支援センターなどへの研修会や勉強会に参加をします。
主な行事等		こどもの日、七夕、プール遊び、クリスマス、お正月、そり遊び、節分、ひなまつり		